

日本油化学会第 53 回年会プログラム

特 別 講 演

9 月 9 日 (火) 13:45~14:30

D 会場 (2 階 ハイネスホール)

1SD-03 「脂質酸化物バイオマーカーによる疾病の早期診断」

(独立行政法人産業技術総合研究所 健康工学研究部門) 吉田 康一

9 月 9 日 (火) 15:45~16:30

D 会場 (2 階 ハイネスホール)

1SD-04 「油脂の物理状態を制御する O/W 型エマルションの凍結・解凍と揚げ加工での吸油量低減を事例にして」

(岩手大院農) 三浦 靖

9 月 11 日 (木) 9:00~9:45

A 会場 (3 階 ロイトンホール D)

3SA-01 「脂質代謝と時間栄養学」

(早稲田大学) 柴田 重信

受 賞 講 演

9 月 10 日 (水)

A 会場 (3 階 ロイトンホール D)

13:30~14:00 学会賞

2SA-01 「生体膜関連物質の界面物性及び機能解析に関する研究」

(長崎国際大学・薬学部) 柴田 攻

14:00~14:30 学会賞

2SA-02 「コレステロールおよび植物ステロールの吸収およびその輸送体に関する研究」

(東北大学大学院農学研究科) 池田 郁男

14:30~15:00 進歩賞

2SA-03 「フコキサンチン及びテルペノイドの新規生理機能に関する研究」

(弘前大学農学生命科学部) 前多 隼人

15:00~15:30 進歩賞

2SA-04「機能性バイオ素材の発酵生産と化粧品への応用に関する研究」

(産総研・環境化学) 森田 友岳

第14回 油脂優秀論文賞受賞講演会

9月10日(水) 9:00~12:00

D会場(2階 ハイネスホール)

主催: 一般財団法人 油脂工業会館

進行: 事務局

[開会の挨拶]

9:00~9:05

(一財) 油脂工業会館

理事長

藤重

貞慶

[油脂技術論文部門]

9:05~9:20

脂肪酸メチルエステルのスルホン化反応における着色機構

ライオン株式会社

新倉

史也

9:20~9:35

皮膚洗浄料の泡質と肌への影響

花王株式会社

園田

純子

9:35~9:50

イオンコンプレックス系を活用した α ゲルO/Wエマルションの粘度安定性

資生堂リサーチセンター

宇山

允人

[油脂産業論文部門]

10:00~10:15

再生可能エネルギー増進への油脂産業の役割

チューブワームによる硫黄の有効活用とメタン発酵の推進

日油株式会社

柿山

朝香

10:15~10:30

2050年に向けて油脂産業が創り出す夢

人工光合成を用いた油脂媒介エネルギー循環システムの構築

株式会社ADEKA

田村

岳文

10:30~10:45

再生可能エネルギー増進への油脂産業の役割

下水処理を活用したバイオ燃料生産システムの提案

ライオン株式会社

的場

美奈子

10:45~11:00

再生可能エネルギー増進への油脂産業の役割

潮流を利用したマリンバイオリファイナリー構想

花王株式会社

小林

英男

[研究助成部門]

- 11:10~11:25 再生医療応用を指向した、脂質担持バイオミネラル表面による遺伝子導入技術の開発
独立行政法人産業技術総合研究所 大矢根 綾子
- 11:25~11:40 機能性サーフマーを用いる酵素触媒重合による高分子微粒子の作製と表面多機能化
千葉大学 桑折 道濟
- 11:40~11:55 両親媒性ポリアラミドを基盤とする超高強度フォトメカニカルゲルの開発と応用
慶應義塾大学 岡野 久仁彦

[日本油化学会会長挨拶]

- 11:55~12:00 (公社)日本油化学会 会長 宮澤 三雄

シンポジウム

9月10日(水) 15:45~17:45

A会場(3階 ロイトンホールD)

実行委員会企画シンポジウム1 「若手が語る：油脂の機能性研究の将来」

世話人：前多 隼人(弘前大学農学生命科学部)

2SA-05 「脂肪の質と含量が異なる等カロリー食がエネルギーおよび脂質代謝に与える影響」

(東北大院・農) 井上 奈穂

2SA-06 「食事脂質のリンパ輸送とリンパ液中の炎症応答の関係」

(九州大学大学院農学研究院) 城内 文吾

2SA-07 「脂肪摂取後の生体応答から動脈硬化予防を考える」

(お茶の水女子大学 寄附研究部門「食と健康」) 岸本 良美

2SA-08 「魚油と複合脂質・タンパク質の相互作用が脂質代謝に及ぼす影響」

(関西大学 化学生命工学部 食品化学研究室) 細見 亮太

9月11日(木) 10:00~12:00

A会場(3階 ロイトンホールD)

実行委員会企画シンポジウム2 「油脂の酸化：研究の最前線」

世話人：安達 修二(京大院農)・宮下 和夫(北大院水)

3SA-02 「ナノ粒子化によるエマルション系および粉末系における脂質酸化の抑制

—確率論的考察—

(京大院農) 安達 修二

- 3SA-03「油脂の加熱劣化」 (東京工科大学応用生物学部) 遠藤 泰志
3SA-04「均一・分散・粉末系におけるアシルアスコルビン酸の抗酸化性」
(近畿大工) 渡邊 義之
3SA-05「魚油の酸化と抗酸化」 (北大院水) 宮下 和夫

部会シンポジウム

オレオマテリアル部会 ランチョンシンポジウム

9月9日(火) 12:00~13:30 D会場(2階 ハイネスホール)

1SD-01「疑似セラミドによる高含水 α -ゲルの開発と肌上に形成される疑似細胞間脂質膜に関する研究」 (花王株式会社) 織田 政紀

1SD-02「光応答性界面活性剤を用いた界面物性の光制御」

(東京理科大学工学部) 高橋 裕

2014年度オレオマテリアル部会賞受賞講演

受賞者

界面科学部会 ランチョンシンポジウム

9月9日(火) 12:00~13:30 E会場(2階 クリスタルルームA)

1SE-01「ナノ材料創製における両親媒性分子・高分子の新たな可能性」

(信州大学工学部物質工学科) 酒井 俊郎

オレオナノサイエンス部会 シンポジウム

9月9日(火) 12:00~13:30 F会場(2階 クリスタルルームB)

1SF-01「ナノハイブリッド材料を用いた新規治療薬剤の開発」

(国立台湾科技大学) 今栄 東洋子

1SF-02「生体膜の曲率と機能」

(千葉科学大学大学院薬学研究科) 坂本 一民

1SF-03「イオントフォレシスを目的とした経皮投与用ナノ粒子の製剤設計」

(興和株式会社富士研究所) 鈴木 健一

洗浄・洗剤部会 ランチョンシンポジウム

9月10日(水) 12:00~13:30 E会場(2階 クリスタルルームA)

2SE-01「酸化還元酵素ペルオキシダーゼの機能と洗浄分野への応用」

(北海道教育大学) 森田 みゆき

油脂産業技術部会・オレオライフサイエンス部会 合同ランチョンシンポジウム

9月10日(水) 12:00~13:30 F会場(2階 クリスタルルームB)

2SG-01「国産超強力小麦「ゆめちから」の諸特性とその特性を利用した各種食品開発」

(帯広畜産大学 食品科学研究部門) 山内 宏昭

オレオナノサイエンス部会 ランチョンシンポジウム

「新たな医療のディメンジョンを模索するオレオナノサイエンス」

9月10日(水) 12:00~13:30 G会場(2階 クリスタルルームC)

2SF-01「脂肪組織の血管を標的とするナノ医療戦略」

(北海道大学大学院薬学研究院 未来創剤学研究室) 梶本 和昭

2SF-02「細胞内応答性脂質様サーファクタントを基盤とした遺伝子・核酸ナノDDS」

(北海道大学大学院薬学研究院 薬剤分子設計学研究室) 秋田 英万

教 育 講 演

9月9日(火)

D会場 (2階 ハイネスホール)

18:00~18:45

1SD-05「魚油ばかりじゃない水産油脂ー水産複合脂質のポテンシャルー」

(北大院水) 高橋 是太郎

一般口頭発表

B会場(2階 エンプレスホール)

9月11日(木) 午前:食品化学

9:00~9:45

3B-01 β -コングリシニンの短期間摂取が血漿脂質濃度および血漿グルコース濃度に及ぼす影響

(長崎県立大院¹, 長崎国際大²) ○川邊田晃司¹・古場一哲¹・山本孝史²

3B-02 パプリカ由来カロテノイドのヒト赤血球への分布

(江崎グリコ株¹, 福島県スポーツ課², 福島大学人間発達文化学類³, 生産開発科学研究所⁴)

○西野 梓¹・市原敬司¹・鷹羽武史¹・栗木 隆¹・二瓶秀子²・川本和久³・眞岡孝至¹

3B-03 TSOD マウスにおける高純度ナリンギンあるいは柚子ポリフェノールの肥満予防作用

(明治大・農・農化) 森永真央・○長田恭一

9 : 45~10:45

3B-04 α -リノレン酸高含有リン脂質による食事性肥満改善作用

(弘前大¹, 興人ライフサイエンス(株)²) ○堂黒翔太¹・梶直人²・阿孫健一²・前多隼人¹

3B-05 ε -ポリリジン摂取による脂質吸収抑制メカニズムの解明

(関西大¹, 関西医大²) ○宮内一匡¹・笠崎舞¹・細見亮太¹・西山利正²・吉田宗弘¹・福永健治¹

3B-06 クルクミンの生物学的利用能向上を目指したナノ粒子作製

(東北大院農・機能分子解析¹, 東北大院農・テラヘルツ², 東北大学未来科学技術共同研究センター³) ○張替敬裕¹・宮澤大樹¹・庄司求¹・仲川清隆¹・藤井智幸²・宮澤陽夫^{1, 3}

3B-07 中性脂肪蓄積心血管症患者由来線維芽細胞のTG代謝に及ぼすL-カルニチンの影響

(近大院農¹, 阪大院医²) ○須見友子¹・鶴澤有希¹・平野賢一²・財満信宏¹・森山達哉¹

10 : 45~11:00 休憩

11 : 00~12:00

3B-08 PPAR γ を活性化させる新規ニシン発酵食品の脂質解析

(道総研食研¹, 北大院水²) ○濱岡直裕¹・中川良二¹・太田智樹¹・長島浩二¹・細川雅史²・宮下和夫²

3B-09 凍結・解凍により起きるO/W型エマルションの乳化破壊に対する乳化剤の影響

(岩手大院¹, 岩手大², 雪印メグミルク³) 宇部紗織¹・○小野萌²・小杉達也³・武藤高明³・三浦 靖¹

3B-10 大豆オイルボディの乳化機能性についての検討

(京都大院農 品質評価学分野¹, 不二製油株式会社²) ○石井 統也¹・松宮健太郎¹・佐本 将彦²・柳澤 昌伸²・松村 康生¹

3B-11 気液界面における油滴の吸着挙動

(京大院農¹・雪印メグミルク株式会社²) ○櫻井洋子¹・松宮健太郎¹・花澤智仁²・武藤高明²・松村康生¹

D会場 (2階 ハイネスホール)

9月10日(水) 午後:生化学

15 : 45~16:45

2D-12 水産複合脂質リポソームの腸管モデルにおける透過及び取り込み

(北大院水¹, University of Lorraine²) ○杜磊¹・小西慶典¹・Adrien Jacquot²・Michel Linder²・栗原秀幸¹・高橋是太郎¹

2D-13 乳酸菌 *Lactobacillus plantarum* による長鎖不飽和脂肪酸代謝物の HepG2 細胞における酸化ストレス応答に与える影響

(京大院農 応用生物学¹, 京大院薬², 京大院農 応用生命科学³, 四條畷学園大⁴)

○古元秀洋¹・Tharnath Nanthirudjanar¹・久米利明²・朴時範³・岸野重信³・小川順³・平田孝^{1,4}・菅原達也¹

2D-14 スフィンゴリエリンの合成促進を介した緑藻由来シフォナキサンチンの脱顆粒抑制作用
(京大院農¹, 四條畷学園大²) ○真鍋祐樹¹・平田孝^{1,2}・菅原達也¹

2D-15 食餌誘発性肥満モデルマウスの脂質代謝に及ぼす緑藻ミル摂取の影響
(京大院農¹, 四條畷学園大²) ○李卓思¹・平田孝^{1,2}・菅原達也¹

16 : 45~17:45

2D-16 カヤ油由来シアドン酸による脂肪細胞の脂肪蓄積抑制効果
(東京工大大応用生物) ○津久井隆行・柳岡皓・遠藤泰志

2D-17 成熟ラットへの高脂肪食給与による肝機能低下と脂質過酸化
(¹東北大院農, ²エーザイ(株), ³東北大学未来科学技術共同研究センター) ○早坂咲¹・加藤俊治¹・宮澤大樹¹・木村ふみ子¹・仲川清隆¹・泉澤勝弘²・宮澤陽夫^{1,3}

2D-18 母親の高脂肪食摂取が子供の脂質過酸化・脂質代謝に与える影響
(¹東北大院農, ²東北大学未来科学技術共同研究センター) ○伊藤隼哉¹・加藤俊治¹・木村ふみ子¹・仲川清隆¹・宮澤陽夫^{1,2}

2D-19 日本人胎盤のトランス脂肪酸含量についての報告
(東北大院農¹, 東北大院医・環境遺伝医学², 女子栄養大³, 東北大院医・情報遺伝医学⁴, 東北大院医・周産期医学⁵, 東北大学未来科学技術共同研究センター⁶) ○木村ふみ子¹・山崎潔大¹・仲川清隆¹・仲井邦彦²・川端輝江³・有馬隆博⁴・水野聖士⁵・八重樫伸生⁵・宮澤陽夫^{1,6}

9月11日(木) 午前: 生化学

9 : 00~10:00

3D-01 *Gluconobacter* 属細菌によるメタノール存在下でのグリセリンからのグリセリン酸生産における生産物選択性の変化

(産総研環境化学¹, 産総研生物プロセス², 山口大学農学部³) ○佐藤俊¹・森田直樹²・北本大¹・薬師寿治³・松下一信³・羽部浩¹

3D-02 グリセロールを炭素源とした *Lipomyces* 属酵母による油脂生産

(ライオン(株)¹, 山梨大院²)

○黒川博史¹・浜本友佳¹・大木亨¹・二階堂雅則¹・大寺基靖¹・長沼孝文²

3D-03 脂質蓄積性を高めた出芽酵母による高度不飽和脂肪酸の生産 -界面活性剤 Tergitol NP40 添加のステアリドン酸生産への影響-

(産総研生物プロセス) ○木村和義・山岡正和・植村浩・神坂泰

3D-04 牛糞由来セルロースの酵素糖化及び乳酸発酵への応用

(東理大理工¹, 東理大生命研², 東理大総研³) ○菊地由希子¹・関泰隆²・金井良博³・類家竜司³・岩端一樹³・高橋昌利¹・鳥越幹二郎¹・酒井健一^{1,3}・酒井秀樹^{1,3}・坂口謙吾³・

阿部正彦³

10 : 00~10:45

3D-05 シランカップリング剤で修飾されたチタニア/シリカ複合薄膜を用いた細胞シートの調製
(千葉工大¹, 東理大光触媒国際研究センター², ライオン株式会社³, 東理大理工⁴,
東理大総研機構⁵) ○柴田裕史^{1,2}・篠崎亮太¹・小倉卓³・酒井秀樹^{2,4}・阿部正彦^{2,5}・
河合剛太¹・橋本和明¹

3D-06 オレイン酸系ジェミニ型界面活性剤と DNA との相互作用
(東理大理工¹, 小野薬品工業², 東理大総研³) ○岡野知晃¹・衛藤佑介²・西浦昭雄²・
遠藤健司^{1,3}・酒井健一^{1,3}・酒井秀樹^{1,3}・阿部正彦³

3D-07 鉄ポルフィリン錯体を導入した葉酸修飾リポソームの抗癌効果
(東理大理工¹, 東理大総研²) ○相川達男^{1,2}・佐藤真紀¹・近藤剛史^{1,2}・湯浅 真^{1,2}

10 : 45~11:00 休 憩

11 : 00~12:15

3D-08 ヒアルロン酸及びヒアルロン酸誘導体の混合物における保湿作用
(小林製薬株式会社) ○森瀬貴子・中村行雄・阿川由季夫・栗山健一

3D-09 オレイン酸が皮膚に及ぼす作用
(株)大島椿本舗¹, 東京工大 応用生物²) 水谷多恵子¹・鎌田正純¹・佐々木茜²・
池田英玄²・正木仁²

3D-10 ESR-スピンプローブ法による皮膚角層の構造に関する研究
(弘前大院保健¹, 弘前大院医²) ○中川公一¹・皆川智子²・澤村大輔²

3D-11 紫外線量に即応した皮膚角層におけるトランスウロカニン酸 (t-UCA) の光異性化に関する研
究
(千葉科学大学薬学部) ○小原わかな・橋本陽輔・大高泰靖・山下裕司・坂本一民

3D-12 n-3 系多価不飽和脂肪酸含有リン脂質の酵素的調製
(成蹊大・理工¹, 日清ファルマ(株)²) ○山本幸弘¹・水田絵理¹・伊藤瑞恵²・
原田昌卓²・平本茂²・原節子¹

E会場 (2階 クリスタルルームA)

9月10日(水) 午前: 界面化学①

9:00~10:00

2E-01 自己駆動を開始するマクロエマルション液滴
(東大院総合¹, JST さきがけ²) ○田中雄喜¹・伴野太祐¹・豊田太郎^{1,2}

2E-02 乳化剤フリー油中水滴型エマルションの分散安定性：オレイン酸の純度の影響

(信州大工) ○瀬尾 桂太・酒井 俊郎

2E-03 乳化剤フリー水中油滴型エマルションの分散安定性：油剤の混合効果

(信州大工) ○山本 歩・酒井 俊郎

2E-04 界面活性剤混合系における光応答性エマルションの光誘導解乳化

(東理大工) ○小泉奈々美・高橋裕・近藤行成

10:00~10:45

2E-05 複合コアセルベーション法を模倣した乳化物の調製と安定性の評価

(東理大理工¹、東理大総研²、千葉科学大薬³) ○田中美里¹・遠藤健司^{1,2}・酒井健一^{1,2}・坂本一民^{1,3}・阿部正彦²・酒井秀樹^{1,2}

2E-06 ポリアクリル酸/アルキルアミン複合体による乳化物の安定化

(東理大理工¹・東理大総研²・千葉科学大薬³) ○新城万葵子¹・遠藤健司^{1,2}・酒井健一^{1,2}・坂本一民^{1,3}・阿部正彦²・酒井秀樹^{1,2}

2E-07 微結晶セルロースの乳化性

(香川大農) ○合谷祥一¹、吉岡凌太¹

10:45~11:00 休憩

11:00~12:00

2E-08 両親媒性環状オリゴ糖架橋ナノ粒子の界面物性と乳化機能

(阪市工研¹、阪大院工²) ○川野真太郎¹・小野大助¹・佐藤博文¹・静間基博¹・木田敏之²・明石満²

2E-09 分散安定性に優れる Oil in Oil 型エマルションの調製 ならびにこれを用いたマイクロカプセルの調製

(東理大理工¹・東理大総研²・理想科学工業株式会社³) ○守興麻子¹・酒井健一^{1,2}・遠藤健司^{1,2}・渡辺祥史³・安藤一行³・魚住俊介³・奥田貞直³・阿部正彦²・酒井秀樹^{1,2}

2E-10 紫外線吸収剤を内包した O/I₁ 型エマルションの調製

(横国大院環境情報) ○木村美波・増田収希・荒牧賢治

2E-11 クリーム石鹼の安定化におけるポリオールの影響

(ポーラ化成工業株) ○小森谷真澄・鷺谷廣道

9月10日(水) 午後：界面化学①

15:45~16:45

2E-12 カチオン化リポソームのゼータ電位に対するコレステロールの影響

(横国大院環境情報¹・コーセースキンケア製品研究室²) 渡邊由樹¹・紺野義一²・緒方亜美²・荒牧賢治¹

- 2E-13 超臨界二酸化炭素法を用いた E0 フリーニオソームの調製とその溶液物性
(東理大¹・ニッコールグループ コスモステクニカルセンター²・東理大総研³) ○山口俊介^{1, 2}・
木村然¹・三園武士³・酒井健一^{1, 3}・酒井秀樹^{1, 3}・阿部正彦³
- 2E-14 化学添加物法によるラメラベシクルの液晶転移
(神奈川大院工¹・神奈川大学三相乳化プロジェクト²) ○榎本康孝¹・今井洋子²・田嶋和夫²
- 2E-15 ラメラベシクル転移におけるエネルギーの試算
(神奈川大院工¹・神奈川大学三相乳化プロジェクト²) ○榎本康孝¹・今井洋子²・田嶋和夫²

16:45~17:45

- 2E-16 二本の疎水鎖をもつポリグリセリン型非イオン界面活性剤の水溶液系における相挙動
(横国大院環境情報¹, 株式会社ダイセル²) ○築島義知¹・前原徹也²・油野大輔²・坂西裕一²・
北尾久平²・荒牧賢治¹
- 2E-17 ポリグリセリン脂肪酸エステル物の物性に対する無機塩及び多価アルコールの影響
(太陽化学株式会社) ○熊澤史貴、高橋宏輝、川合丈志
- 2E-18 アシルグルタミン酸塩の希薄・濃厚水溶液物性とその鎖長依存性
(東理大理工¹, 東理大総研²) ○澤正英¹・野村一幸¹・小倉卓¹・遠藤健司^{1, 2}・酒井健一^{1, 2}・
酒井秀樹^{1, 2}・阿部正彦²
- 2E-19 2種類の低分子オルガノゲル化剤を用いたハイドロゲルの調製
(東理大工) ○中川充・土屋好司・遠藤洋史・河合武司

9月11日(木) 午前: 界面化学①

9:00~10:00

- 3E-01 微分電気伝導率法によるジェミニ型界面活性剤の会合数の決定
(愛知工大工¹, 名工大院工²) ○村田 護¹・山本 靖²・多賀圭次郎²
- 3E-02 長鎖スパーサーをもつジェミニ型界面活性剤への可溶化挙動: 各種分光学的手法による解析
(長崎国際大薬) ○中原 広道・小島 由意・師井 義清・柴田 攻
- 3E-03 TLC による混合系界面活性剤の特性評価
(千葉科学大学薬学部) ○陳冠淳・犬童千智・山下裕司・坂本一民
- 3E-04 アルキルアミン塩酸塩の水におけるミセル形成に関する熱的研究
(静岡県立大学短期大学部) ○佐原 秀子・原田 茂治

10:00~10:45

- 3E-05 超臨界二酸化炭素中での界面活性剤会合体形成に及ぼすハイブリッド疎水鎖の影響
(弘大院理工) ○小野真司・James Craig・吉澤篤・鷺坂将伸
- 3E-06 固体表面上に形成されたイオン液体積層構造に及ぼす水および界面活性剤の添加効果
(東理大理工¹, 東理大総研²) ○岡田康平¹・遠藤健司^{1, 2}・酒井健一^{1, 2}・阿部正彦^{1, 2}・酒井秀樹^{1, 2}

3E-07 コロイド - 高分子電解質複合体の符号反転における束縛カウンターイオン効果の影響
(長崎国際大薬¹, 高知工大院工²) ○加藤陸¹・古沢浩²

10:45~11:00 休憩

11:00~11:45

3E-08 桂皮酸修飾カチオン界面活性剤/アニオン界面活性剤混合系におけるベシクル形成の光制御
(東理大理工¹, 東理大総研²) ○服部研二¹・荒川真輝¹・遠藤健司¹・酒井健一^{1,2}・阿部正彦²・
酒井秀樹^{1,2}

3E-09 光応答性界面活性剤の界面物性に及ぼす光照射の影響
(東理大工) ○綾子雄也・高橋裕・近藤行成

3E-10 フェロセン修飾 Gemini 型界面活性剤水溶液における粘弾性の電気化学的制御
(東理大工) ○園田雄大・秦慎一・高橋裕・近藤行成

11:45~12:30

3E-11 金属ポルフィリン系イオンコンプレックスから成る集合体の作製とその特性
(東理大¹, 東理大総研機構²) 増田有紗¹・相川達男^{1,2}・近藤剛史^{1,2}・湯浅真^{1,2}

3E-12 光学活性な界面活性剤の合成とそのキラリティーが溶液物性に及ぼす影響
(東理大工) ○成田 滉平・高橋 裕・近藤行成

3E-13 環状ペプチド構造に起因するサーファクチンの特異な界面物性
(産総研¹・カネカ²) ○井村知弘¹・平 敏彰¹・柳澤恵広²・長野卓人²・北本 大¹

F会場 (2階 クリスタルルームB)

9月9日(火) 午後: 油脂・脂質化学

13:30~14:30

1F-01 ブリスコール®による油中酸性化合物の吸着除去に関する研究
(富田製薬¹, 近畿大薬²) ○谷脇孝典¹・鎌井一気¹・板東明人¹・緒方文彦²・川崎直人²

1F-02 双極子相互作用を活用した高安定リポソームの創製
(東理大理工¹・東理大総研機構²) ○高橋由佳子¹・相川達男¹・近藤剛史^{1,2}・湯浅真^{1,2}

1F-03 NMR 解析に基づくグリチルリチン酸ジエチルエステルによるグリセリンゲル形成過程の分子間
相互作用
(北陸大薬¹, 宏輝(株)², 宏輝システムズ(株)³) ○古閑健二郎¹・串田宏²・吉川展司³

1F-04 擬似口紅型オレオマテリアル混合系の相挙動に対する冷却条件の影響
(慶大理工¹, パラエルモサ², 黒田総合技研³) ○伊藤優生¹・岡野久仁彦¹・遠藤真遊²・
武川翼²・佐藤昇正²・中村直生²・前澤大介^{1,2}・黒田章裕^{1,3}・朝倉浩一¹

14 : 30~15:30

- 1F-05 トリラウリンに対するソルビタン脂肪酸エステル¹の添加効果の解明
(広島大学大学院生物圏科学研究科¹, 理研ビタミン株式会社²) ○浜本志帆¹・本同宏成¹・
山根晋哉²・芦田泰三²・原田健一²・上野聡¹
- 1F-06 パーム油の結晶化に及ぼすジアシルグリセロールの添加効果
(広島大学大学院生物圏科学研究科) ○關 宏樹・本同宏成・上野聡
- 1F-07 OP0/POP 系の冷却速度変化における結晶化挙動について²
(ミヨシ油脂¹, JASRI², 広島大学大学院生物圏科学研究科³) ○仲西賢剛¹・御器谷友美¹・
石黒隆¹・佐藤真直²・上野聡³
- 1F-08 ココアバターとココアバター代用脂の相挙動の解明
(広島大学大学院生物圏科学研究科¹, 東京フード株式会社²) ○高木麻祐子¹・本同宏成¹・
路川聡一²・坂本千夏²・平井優太²・上野聡¹

15 : 30-15 : 45 休 憩

15 : 45~16:45

- 1F-09 冷凍-解凍下におけるマヨネーズの品質劣化に及ぼす油脂および氷結晶の影響
(広島大学大学院生物圏科学研究科) ○石橋ちなみ・本同宏成・上野聡
- 1F-10 CALBを用いた新たな2位脂肪酸分析法における夾雑成分の影響
(J-オイルミルズ¹, 大阪市立工業研究所²) ○堀竜二¹・佐野貴士¹・今義潤¹・渡辺嘉²
- 1F-11 隣リパーゼによる2-および3-MCPD エステルの分解産物の同定と吸収性
(植田製油(株)¹, 大阪市立工業研究所², 近畿大学院・総合理工³, 大阪府立大学院・栄養⁴,
大阪府立大学院・生命環境⁵) ○風直樹¹・渡辺嘉²・室田佳恵子³・熊本舜³・佐藤博文²・
小谷口美也子⁵・山本浩志¹・乾博⁴・北村進一⁵
- 1F-12 ポリジメチルシロキサンと天然トコフェロールが共存する油脂における抗酸化効果の関係
(神戸学院大¹, (株)J-オイルミルズ²) ○佐藤亨¹・八幡美保¹・岩橋舞子²・堀竜二²・竹内茂雄²・
白砂尋士²・戸谷永生¹

16 : 45~17:45

- 1F-13 油脂中の酸素濃度とポリジメチルシロキサンの関連について
(神戸学院大 栄養¹, (株)J-オイルミルズ²) ○ 八幡 美保¹・佐藤 亨¹・岩橋 舞子²・堀 竜二²・
竹内 茂雄²・白砂 尋士²・戸谷 永生¹
- 1F-14 各種エステル交換油脂の酸化安定性評価
(成蹊大院・理工) ○土手慎介・山本幸弘・原節子
- 1F-15 機能性乳脂代替物の酵素的調製と酸化安定性評価
(成蹊大院・理工) ○小谷康祐・山本幸弘・原節子

1F-16 ナタネミールに含まれるグルコシノレートの分画と同定

(成蹊大院・理工) ○石井遼・山本幸弘・原節子

9月10日(水) 午前：油脂・脂質化学

9:00~9:45

2F-01 リノール酸酸化生成物 10, 12-(*Z, E*)-ヒドロキシリノール酸(HODE)を含むマルチバイオマーカーを用いた糖尿病リスク予測モデルの構築

(産総研健康工学研究部門¹, 愛媛大学大学院連合農学研究科²) ○梅野彩^{1,2}・吉野公三¹・吉田康一¹

2F-02 ヒト肝癌細胞HepG2におけるホスファチジルコリンヒドロペルオキシド(PCOOH)の代謝と病態生理

(東北大院農・機能分子解析¹, 東北大未来科学技術共同研究センター²) ○鈴木 優里¹・加藤 俊治¹・仲川 清隆¹・宮澤 陽夫^{1,2}

2F-03 ゼラチンの架橋構造を利用し作製した粉末魚油の特性評価

(東北大院農・機能分子解析¹, 青葉化成(株)², 宮城大・食産業³, 東北大未来科学技術共同研究センター⁴) ○半澤康彦¹・青木茂太¹・阿久津光紹²・松本俊介²・金内誠³・仲川清隆¹・木村ふみ子¹・宮澤陽夫^{1,4}

9:45~10:30

2F-04 紅藻ウシケノリにおける低塩類ストレス応答に伴う脂肪酸組成の変動

(北大院水) ○小林拓也・三上浩司・板橋豊

2F-05 紅藻クビレオゴノリのアラキドン酸代謝物

(北大院水) ○松本和樹・板橋 豊

2F-06 海洋性原始腹足類の生殖腺に存在する多様なコレステロール前駆体

(岩手県大短大学部¹, 藤女子大², 岩手大³) ○川島英城¹・大西正男²・小川智³

9月10日(水) 午後：界面化学②

15:45~16:45

2F-12 重合度分布をもたない単一鎖長ポリオキシプロピレンポリオキシエチレン系非イオン性界面活性剤の合成と界面吸着およびミセル形成

(奈良女大院¹, アクア化学(株)²) ○矢田詩歩¹・吉村倫一¹・山本健²

2F-13 各種エチレンアミンから誘導したジェミニ型カチオン界面活性剤の水溶液物性と会合体特性

(奈良女大院) ○守田つかさ・吉村倫一

2F-14 重合性ジェミニ/モノメリック型界面活性剤混合系の相挙動

(東理大理工¹, ミヨシ油脂², 東理大総研³) ○古林典之¹・輿石祐輔¹・高松雄一郎²・岡部祐二²・遠藤健司^{1,3}・酒井健一^{1,3}・酒井秀樹^{1,3}・阿部正彦³

2F-15 糖を親水基とした二鎖型分解性界面活性剤の合成と物性
(阪市工研¹・阪工大工²)○小野大助¹・南谷道輝²・沼田健人²・川野真太郎¹・佐藤博文¹・
静間基博¹・益山新樹²

16 : 45~17 : 45

2F-16 環状トポロジーを有する新規界面活性剤の合成と物性
(東京理科大院 理工¹, 産総研²)○廣瀬雄基¹・井村知弘²・平敏彰²・酒井健一¹・酒井秀樹¹・
北本大²

2F-17 両親媒性フェルラ酸誘導体の合成と MALDI 質量分析のマトリックスへの応用
(東理大院 理工¹・産総研²)○中山未央¹・井村知弘²・平敏彰²・酒井秀樹¹・阿部正彦¹・
佐藤浩昭²・北本大²

2F-18 グリチルレチン酸 3-0-グルクロニドの会合体形成
(埼玉大教育¹, 昭和薬大²)○松岡圭介¹・唐澤正悟²

2F-19 長鎖 PEG を有する非イオン性活性剤の泡質改善効果
(日油株式会社)○河内順一・脇田和晃

9月11日(木) 午前: 界面化学②

9 : 00~10 : 00

3F-01 *Penicillium* 属菌に対する脂肪酸塩の抗カビ効果
(シャボン玉石けん¹, 北九大院・国際環境工², 北九大・国際環境工³)○完山陽秀¹・境志穂²・
恵良真理子²・川原貴佳¹・森田洋³

3F-02 葉酸標識超音波造影微小気泡の開発とその腫瘍細胞への集積性
(東理大¹, 東京慈恵医大²)○土屋好司¹・小田奈津季¹・矢島博文¹・河合武司¹・酒井秀樹¹・阿
部正彦¹・大川清²・松浦知和²

3F-03 サンスクリーン剤塗布時の自発的空間パターン形成が紫外線防御能に対して与える影響
(慶大理工¹, パラエルモサ², DRC³・東京工科大応用生物⁴, 黒田総技研⁵)○若林美咲¹・
岡野久仁彦¹・遠藤真遊²・武川翼²・佐藤昇正²・中村直生²・前澤大介^{1, 2}・中尾敦司³・
高野憲一³・角田聖⁴・正木仁⁴・黒田章裕^{1, 5}・朝倉浩一¹

3F-04 シリコーンを油剤とする逆ミセル型クレンジング製剤に関する研究
(ポーラ化成工業¹)○藤山一平・本木裕美・清野綾子・赤塚秀貴

10 : 00~10 : 45

3F-05 レスベラトロールの効率的皮膚デリバリーシステムとしてのショ糖脂肪酸エステルマイクロ
エマルジョンの有用性
(神戸薬大)○湯谷玲子・小守佑果・寺岡麗子・北河修治

- 3F-06 メイクアッププロセスにおける摩擦現象
(山形大院理工¹, イノアックコーポレーション²) ○山口梓¹・高橋央¹・今井由美²・野々村美宗¹
- 3F-07 水系洗浄プロセスへの大気圧プラズマ照射の導入
(奈良女子大学) ○後藤景子・永井悠

10 : 45-11 : 00 休 憩

11 : 00~11 : 45

- 3F-08 アルキル鎖によるナノダイヤモンドの表面修飾と溶媒への分散性評価
(東理大理工¹, 東理大総研機構², JST ACT-C³) ○伊藤 彩香¹・近藤 剛史^{1,2,3}・相川 達男^{1,2}・湯浅 真^{1,2,3}
- 3F-09 種々のポリ乳酸カプセル間の一次元融合による新規高分子チューブ形成
(阪大院工) ○稲田清孝・木田敏之・明石満
- 3F-10 紫外線照射によるポリスチレン中空ナノ粒子の作製
(東理大工) ○早川周作・土屋好司・遠藤洋史・河合武司

11 : 45~12 : 30

- 3F-11 アルミナ担持ナノフラワーの調製と保護剤除去による触媒活性への影響
(東京工大¹, 東京理大²) ○伊村芳郎¹・古川森也¹・小澤健一¹・森田くらら²・河合武司²・小松隆之¹
- 3F-12 ポリエチレンオキッド含有ブロックコポリマーを用いたシリカ粒子上への金ナノ粒子の自己形成・自己集積
(信州大工) ○渡邊 崇久・酒井 俊郎
- 3F-13 プルロニック型界面活性剤を用いた金属ナノ粒子の水素合成
(信州大工) ○石原 朗寛・酒井 俊郎

G会場 (2階 クリスタルルームC)

9月10日(水) 午後:有機化学・分析化学

15 : 45~16 : 30

- 2G-12 熱分解法による動物油脂由来バイオディーゼル燃料製造における二段階反応プロセスの基礎検討
(日本大学) ○森田峻平・斉藤寛延・森健太郎・角田雄亮・平野勝巳
- 2G-13 ニトロアセトニトリル合成等価体を用いたシングル/ダブル Michael 付加反応の制御
(高知工科大学) ○浅原時泰・武藤京・西脇永敏
- 2G-14 有機溶媒中でのシクロデキストリン二量体による包接錯体形成
(阪大院工) ○小亀千鶴・木田敏之・明石満

16 : 30~17:00

2G-15 鎖長制御ポリエチレングリコールの固相合成法の開発と分析

(関西大化学生命工¹, 阪市工研²) ○稲本正¹・小野大助²・静間基博²・川野真太郎²・川崎英也¹・荒川隆一¹・佐藤博文²

2G-16 新規クリプタンド型セシウムイオン捕捉剤の開発

(阪工大工) ○西畑宗典・村岡雅弘・中辻洋司

17 : 00~17:45

2G-17 高速原子衝撃質量分析法を用いた光学異性体認識平衡系の錯安定度定数決定法

(阪市工研¹, 阪大産研²) ○静間基博¹・川野真太郎¹・佐藤博文¹・松崎剛²・朝野芳織²・鈴木健之²・小野大助¹

2G-18 テラヘルツ時間領域分光法とX線回折法を利用したニフェジピン-ポリビニルピロリドン固体分散体の結晶化度の推定

(東京理大薬¹, 大塚電子(株)², 東京理大DDS研セ³, 戦略的物理製剤学戦略基盤セ⁴, 新潟薬大⁵)
○竹内一成^{1,3,4}・島倉健磨¹・黒田秀樹²・中嶋武尚^{3,4}・後藤了^{1,3,4}・寺田弘^{1,3,4,5}・牧野公子^{1,3,4}

2G-19 HPLC-FLを用いたPAHs多成分同時分析法の開発および食品分析への応用

(公益財団法人日本食品油脂検査協会) ○高木繁行・飯田泰浩・城戸浩胤・和田俊・丸山武紀

9月11日(木) 午前: 分析化学

9 : 00~9:45

3G-01 グルコシルセラミドのHPLC分析のための精製法の検討

(一般財団法人日本食品分析センター) ○硯弘乃介・伊藤裕信・後藤浩文・吉井信彦・中里孝史・五十嵐友二

3G-02 新規前処理法を利用したパーム油中のトリアシルグリセロール位置異性体比率測定方法の検討

(ミヨシ油脂株式会社) ○佐々木玲・梅澤正敏・大石憲考・塚原智・石黒隆

3G-03 超高分解能MALDI Spiral-TOFMSによるクレンジングオイルの分析~古くて新しいKendrick mass defect plot法の適用~

(日本電子(株)¹, 産総研²) ○寺本華奈江¹・中山智香子¹・佐藤浩昭²

9 : 45~10:45

3G-04 逆相キラルHPLC-MS/MSによるリン脂質の光学異性体分析

(北大院水¹・道衛研²) ○木村 錬¹・西村一彦²・板橋 豊¹

3G-05 LC-MS/MSによるエタノールアミン型およびコリン型プラズマローゲンの精密定量

(東北大院農・機能分子解析¹, 東北大未来科学技術共同研究センター²) ○乙木百合香¹・加藤俊治¹・仲川清隆¹・宮澤陽夫^{1,2}

3G-06 LC-MS/MSによる生体過酸化リン脂質 (PCOOH) の異性体解析

(東北大院農・機能分子解析¹, 日医大・内分泌代謝², 心研・付属病院³, 東北大未来科学技術共同研究センター⁴) ○加藤俊治¹・伊藤隼哉¹・水落俊介¹・仲川清隆¹・浅井明²・及川真一²・永島和幸³・宮澤陽夫^{1,4}

3G-07 MS/MSによる脂肪酸ヒドロペルオキシドの新規解析法

(東北大院農・機能分子解析¹, 東北大未来科学技術共同研究センター²) ○水落俊介¹・加藤俊治¹・仲川清隆¹・宮澤陽夫^{1,2}

10:45~11:00 休憩

11:00~12:15

3G-08 高分解能質量分析計を用いた脂肪酸の一斉分析

(CERI) ○尾崎博道・屋形直明・武吉正博

3G-09 トリアシルグリセロール分子種定性に関する研究

(山崎製パン(株)) ○平野雄児・桑原拓郎・日俣克一・山田雄司

3G-10 食用油脂中トリアシルグリセロールにおけるトランス脂肪酸の位置特異的分析

(月島食品工業株式会社¹・東京海洋大学²・大阪市立工業研究所³・日本食品分析センター⁴)
○吉永和明¹・河村芳徳²・北山敬¹・永井利治¹・溝部帆洋¹・小島浩一¹・渡辺嘉³・佐藤伸一⁴・別府史章²・後藤直宏²

3G-11 熱変性植物油の分子量-極性分布と分子構造解析

(花王¹・名工大²) ○森内章博¹・一町千華¹・鈴木不律¹・阪井達哉¹・小池亮¹・大谷肇²

3G-12 深海性刺胞動物脂質の分析：化学合成生態系の影響

(石川県立大学・生物資源環境) ○齋藤洋昭